

担い手様向け農作業場・ライスセンターの建設について

JA・JA全農にいがたでは、担い手様向けの農作業場・ライスセンターの建設を推進しており、お問い合わせは年々増加しております。

今年も3施設が竣工し、現在フル稼働しております。また、来年以降の建設に向け、複数の担い手様と協議を進めているところです。

今回は、JA全農にいがたがご提案する農作業場・ライスセンターの特長と最新の竣工事例をご紹介します。

農作業場・ライスセンターの特長

1. コスト低減対策

- (1)作付け規模に合わせた必要最小限の機能を提案します。
- (2)建物内部に柱が無く、将来の機械配置の変更やメンテナンスが容易な設計となっています。
- (3)天井照明はLED照明を使用し、建具関係は量産品を利用することにより、コスト低減を図っています。

2. 快適かつ安全な作業環境の提案

- (1)入出庫が効率的におこなえるよう、2ヶ所に出入り口を設けています。
- (2)床は防塵塗装を施し、粉塵発生を抑え、作業環境に配慮しています。
- (3)夜間の乾燥作業において、防犯と空気取り入れを両立させるため、ルーバー窓を採用しています。
- (4)シャッターはオーバースライダータイプを採用し、開口幅・高さを十分に確保し、搬入搬出がスムーズにできる設計となっています。
- (5)ご希望により、ホイストクレーン、粃殻庫、集塵庫などオプションにて追加することが可能となっています。

お問い合わせはJA・JA全農にいがたへ

JA・全農にいがたは、施設建設を通じ、担い手の皆様の支援に取り組んでまいります。農業関連施設の建設をお考えの方は、お気軽にお近くのJAまたはJA全農にいがた(施設農住課TEL025-232-1612)までお問い合わせください。

平成28年度竣工のライスセンター施工事例

1. (農)濁川生産組合様(新潟市北区)



建物外観



籾殻庫



機械設備

2. (農)あぐりマイスター長所様(燕市)



建物外観



建物外観



機械設備

3. (農)カミハヤ様(新潟市江南区)



建物外観



籾殻置場



機械設備

(施設農機部 施設農住課)

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。